

学校新聞



北美六



「お願い!」「まかせて!」(試走にて)

輝く未来のために、今

進路指導主事 徳倉 秀紀

将棋、サッカー、卓球、芸能など、様々な世界で小中学生の頃から華々しい活躍をしている人達があります。彼らの活躍には驚きと感動を覚えると同時に、彼らの人知れぬ苦労やたゆまぬ努力を想像し、頭の下がる思いです。

そうした活躍の裏には、必ず周囲の理解と支えがあります。仕事や家事の合間を縫ってわが子のために献身的に尽くす保護者の方々を思うと、同じ十代の子をもつ親として尊敬の念に堪えません。

中学生は将来について考える非常に大切な時期です。「もう中学生だから」「進路は自分で決めるべき」という考え方もあります。しかし、何をしたらよいか分からずに困っていたり不安を感じたりしている生徒も沢山います。まだまだ周囲の支えが必要です。

生徒一人一人が輝く未来のために、学校と家庭が連携を図りながら、継続的に進路選択について考えていければと思います。

人権集会に参加して

反省

二年 新井 峻介

僕は人権集会を経て反省している。僕の祖父は、いつも自分が正しいと思ひ、周りの人に強く当たるなど理解しがたい行動をし、苦手でした。でも、その行動は認知症の人が行う行動で、祖父からのSOSでもあった。正しい行動をしていると思つても周りの人に「違う」と注意され、好きなお酒を飲むと認知症は進んでしまう。そう思うと非常にかわいそうな、つらい境遇にいる。

僕はこれからは祖父に何事も優しく接していこうと心に決めた。祖父が少しでも安心して暮らせるように。

クリーンウォーク週間を企画して

地域をきれいに

環境委員長 吉田 凜

クリーンウォーク週間では、皆さんの協力で、毎日たくさんのごみを拾うことができた。しかし、たくさんのごみが集まるということは、たくさんのごみが落ちていくということだ。毎日拾っているのに、落ちていくごみは無くなる。私はごみを回収して、こんなにごみを道に捨てていく人がいるという事にびっくりした。このような活動をする事で、地域がきれいになることはもちろん、この活動を見て、ポイ捨てを止めようと思ってくれる人がいたらうれしい。

学校保健委員会に参加して

心身の健康を目指して

保健委員長 伊藤 凜

今回は、歯磨きチェックとメディアコントロールチャレンジについて話し合いました。

どちらも時間を決めたり、ルールをつくったりすることで習慣づけることが大切だと思ひました。特に、メディアは日頃から終わる時間を意識することで勉強に集中でき、睡眠時間を確保し、生活リズムを整えることができます。

今後、六ツ美北中生が自分での生活習慣をコントロールできる力を身につけ、心も体も健康でいられるような活動を保健委員会を考え、全校に伝えていきたいです。

表彰記録

◎明るい社会づくり実験体験文
奨励賞 正田早嬉恵

◎第27回全国中学駅伝大会
女子 優勝

第三区区間賞 鈴木 愛菜

第五区区間賞 棧敷真菜美

三学期の予定

【一月】

始業式
岡崎学力検査（全学年）
成人の日

8日

三年学年末テスト（20日）
市書き初め展（19日）

16日

市民駅伝大会

18日

入学説明会
二年スキー学習（7日）
三年三者面談（6日）

3日

建国記念の日
一・二年学年末テスト（19日）
三年卒業テスト

17日

朝の挨拶運動・下校時の交通安全運動
部活動お別れ会
天皇誕生日

22日

「夢おどる」引継会
卒業を祝う会

23日

三年同窓会入会式
第28回卒業証書授与式

25日

公立高校A入試（6日）
公立高校B入試（10日）
一・二年保護者会（17日）
修了式

26日

春分の日

9日

公立高校A入試（6日）
公立高校B入試（10日）
一・二年保護者会（17日）
修了式

16日

修了式

御礼

駅伝部の全国大会出場に際し、多くのご協力、ご厚志をいただきました。ありがとうございました。

集会に進んで参加



熱心なグループ討議

ごみ収集活動



和やかな授業風景

二学期を終えて

一年 宮本 礼子

クラスの仲がよくなったと感じる二学期でした。

それを感じられたのは、体育大会と合唱コンクールです。ともに私たちがとって初めての行事でした。体育大会での応援合戦は、みんな協力して本気で楽しむことができました。男女の仲が近づいたと感じました。

合唱コンクールでは、まさにクラスが「ワンチーム」となっているいろいろな困難を乗り越えるたびに喜びを味わうことができました。

三学期は、学級を越えて学年みんなの仲がよくなれるといいなと思っています。